

# みんなの家

おうち



## このお芝居をつくるにあたって

近年、クマやシカ、イノシシなどの動物の害が増えています。それも、民家のすぐ近くまでやって来て、作物だけでなく、人をも襲います。ある生物学者の方は、「クマやシカ、イノシシなどの害は人災である。戦後日本は豊かな照葉樹林を杉林に替えて生態系を乱してきた。その結果としてリベンジを受けている」と言っています。

今、山の斜面に根が深い広葉樹を植える取り組みを始めている自治体もあります。森を昔の森に戻す運動です。50年後、100年後を見据えた取り組みとひとりひとりの意識が問われています。

この”みんなの家(おうち)”の作品を通して、未来に生きる子どもたちと一緒に自然を守り続けて行くということ、そして、本当の豊かさとは何なのかを考え合うことが出来たらと思います。

この世界に生きるみんなの家が奪われることのないように・・・

制作 矢野ひとみ

# みんなの家<sup>あうち</sup>

おはなし

“おじさんとタヌキ”

## あらすじ

ある街にどうしても山に住んでみたい

おじさんがいました。おじさんは、一生懸命お金を貯めて引っ越しました。そして、畑を耕し野菜をつくりました。そんなある日、おじさんのもとへ業者がやってきました。高速道路が通るので立ち退くようにと言うのです。しぶしぶおじさんは、引っ越しをすることに・・・もらったお金で山を買い前より広い土地を耕し、野菜をたくさん作りました。ある日山を追われたタヌキの親子が、おじさんの畑を荒らし始めました。柵を作ってもタヌキはやってきます。とうとう罠を仕掛けたおじさん。その罠に母親ダヌキがかかってしまいました。そばに寄り添い悲しげな子ダヌキを見たおじさんは、愕然とするのです。そして、おじさんは・・・

小さなお話もあるよ～!



### 劇団紹介

劇団風の子九州は、1985年劇団風の子より独立して誕生した、九州の福岡に本拠地を置く児童青少年演劇の専門職業集団です。

“子どものいるところ、どこへでもとんでいく”を合言葉に、九州・沖縄各地の街中や山間部の集落、点在する離島での公演をしています。

90年からは国内だけではなく、韓国、中国、インドネシア、パキスタン、インド、シンガポール、オーストラリア、カナダ、アメリカなど、アジアを中心に海外公演にも出かけ、多くの人たちとの交流を深めてきています。

2002年からは、韓国の劇団サダリとの合同公演作品『マンナム～出会い』を創り上演してきました。アジテジ（国際児童青少年演劇協会）の「国際フェスティバル in ソウル」では日本代表としても参加しました。

これからも地域で、“子どもたちと共に未来を創る劇団”として、従来の演劇様式にこだわらず、遊びや日常生活の中から、新しい創造と表現の世界を追求し広げていきたいと思っています。



劇団 風の子九州

〒814-0002 福岡市早良区西新5-5-13  
TEL092-841-7889 FAX092-841-7896  
ホームページ: <http://www.kazenoko-kyushu.or.jp>  
E-mail: [info@kazenoko-kyushu.or.jp](mailto:info@kazenoko-kyushu.or.jp)

■北海道 ☎011 (726) 3619 ■東北 ☎0241 (23) 0812 ■東京 ☎03 (3466) 8339 ■中部 ☎058 (215) 7780 ■関西 ☎075 (957) 8502 ■沖縄 ☎0120 (0481) 88

